

愛知

「鬼瓦」で世の中をHAPPYにする！ 既成概念にとらわれず、現代のライフスタイルに併 せたオリジナル商品の企画開発にチャレンジ！！

伝統文化・技術

ものづくり

商品企画・クリエイティブ

マーケティング

観光・おもてなし

広報・PR

プロジェクトの背景や思い

日本最大の瓦の産地である愛知県西三河地域で、一つひとつ丁寧に鬼師と呼ばれる職人がつくる「鬼瓦」。大切に受け継いできた日本の伝統文化と、いぶし銀製品独特の魅力を活かし、新たな付加価値をつくっていききたい。今の時代だからこそ求められ、面白いねと手にとってもらえる、そんな商品づくりに一緒に挑戦しましょう！



日本で1000年以上続いてきた「鬼瓦」という文化。鬼福製鬼瓦所では大正5年（1916年）の創業以来100余年、「鬼師」とよばれる鬼瓦を専門にする職人が手作業で成形から焼成までを一貫して行い、大切に受け継いできました。しかし、ライフスタイルが変化していくにつれ、従来の用途のみでは経済的に成り立たなくなりつつあります。日本の伝統的なものづくりを伝え、いぶし銀の世界観を創造するため、現在は屋根に限らず様々な分野の方とのコラボしながら、新しい商品を展開しています。

プロジェクトが目指すこと

現在、屋根材だけでなく、鬼瓦製作の基礎である、鬼瓦の土台（箱）を作る技術を応用した「瓦キューブ」という立体造形物や、ティッシュケースなど身近なインテリア小物も製造・販売しています。伝統を守るだけでなく、現代のライフスタイルに合わせた鬼瓦の新しい価値観や可能性をつくっていくこと目指しています。

今回のテーマは、以下の2点。

① 恵方巻に代わる節分会の新提案！1人用節分キット『鬼は福』のペルソナや魅せ方のブラッシュアップ

② 日本最大の瓦の産地である愛知県西三河地域から生まれる「鬼瓦弁当」の商品企画提案

鬼師とともに、伝統的な鬼瓦を様々なカタチで未来に伝える取組みにチャレンジしましょう！！

プロジェクトパートナー



◎団体紹介

鬼福製鬼瓦所は愛知県碧南市にある鬼瓦の窯元。愛知県西三河地方（旧国名三州）は約300年前から日本最大の瓦の産地として発展し、現在では陶器瓦（三州瓦）の国内シェアは60%～70%を占めています。当工房では大正5年（1916年）の創業以来、瓦の中でも「鬼瓦」と呼ばれる屋根の装飾品を専門に、職人による手作業で成形から焼成までを一貫して行ってまいりました。

団体名 鬼福製鬼瓦所
代表者 代表 鈴木博氏
事業内容 鬼瓦・いぶし銀製品の製造販売

所在地 愛知県碧南市住吉町3-10

鬼師 鈴木良氏

三州鬼瓦の窯元4代目。幼少の頃より工房を遊び場として育つ。理系大学在学中に研究者になるか、跡を継ぐかで進路に悩んだが、『自分にとっての幸せは、「コレがあったら幸せなもの」ではなく「コレをなくしたら本当に後悔するもの」を失わないこと』だと気づき、卒業と同時に家業に従事。伝統を活かし、新しい取り組みを精力的に行う。

募集要項

Misson①：1人用節分キット『鬼は福』のペルソナや魅せ方のブラッシュアップ
 Misson②：日本最大の瓦の産地である愛知県西三河の「鬼瓦弁当」商品企画



仕事内容

	Misson①：1人用節分キット『鬼は福』	Misson②：鬼瓦弁当
目標	2021年1月に販売開始し、2月3日までに1,000セットの販売	愛知県西三河地域ならではの、鬼瓦弁当企画提案ができる
STEP 1	☆現状把握と目的共有－「鬼瓦」の魅力や経営者の思いを理解する－ ・まずは鬼瓦の魅力や鈴木さんの思い、今回プロジェクトに深く関わってくる新商品、今まで展開してきた多様な商品に関して知ることから始めます。 どんな思いをもち、どんな人たちに届けたいと考え、歩んできたのか、ぜひ伝えたいです。 ・碧南市の工房にもぜひ足を運んでもらい、鬼師の仕事ぶりや実物も体感してもらいます。	
STEP 2	☆リサーチ・ブラッシュアップ ・仮説を元に、ターゲットとなるお1人様市場のリサーチや、ペルソナのブラッシュアップ。 ・デザインや広報を担当される専門家や鬼師の方に、その情報を共有して、完成までとものついでいきます。	☆市場調査・分析 ・全国の企画弁当事情などをリサーチ。まずは鬼瓦弁当の企画をつくっていくうえでの情報収集。 ・お弁当をつくっていくうえで、どんな手順で実施できると良いのかも事前に調べておきます。
STEP 3	☆リリース準備 1月中にメディアリリースできるように、リリース執筆準備を始めます！その他、広報に効果的な手段などもどんどん試していきたいと思います。	☆企画提案 情報収集を元に、「鬼瓦弁当」の企画提案をだしください。どんなコンセプトで、どこと連携し、どんな人に届けたいかなど具体的なところまで落とし込みます。連携先なども目星やヒアリングが既にてできているとベスト！！

期待する成果

- 【1人用節分キット『鬼は福』】
- ・目標：2021年1月に販売開始し、2月3日までに1,000セットの販売を目指す！！
 - ・仮説に対するブラッシュアップができ、ターゲットや魅せ方がより具体的になる
- 【鬼瓦弁当】
- ・企画提案、仮設の設定ができる
-
- ・鬼瓦の魅力発信や、新たな可能性を感じることができる
 - ・多くのメディアに取り上げられる

得られる経験

- ・伝統的な技術を活かしながら、新たな展開に挑戦する経営者の推進力に触れ、学ぶ経験
- ・多様な企業と双方のメリットも踏まえた上で連携することで、より良い1つの商品を創り上げる経験
- ・リサーチから具体的な企画提案まで、1から商品を企画する経験

対象となる人

- ・事業規模は極めて小さいが、既存のビジネスモデルを大転換していく過程を間近で見たい人。
- ・伝統的な技術を活かした鬼瓦の今後の展開に、可能性やワクワクを感じる人
- ・異なる業界と連携し、地域社会も巻き込みながら、1から商品の企画提案をしてみたい人
- ・「お1人様」や、このコロナ自粛の中でのおうち時間など、変わりゆく現代のライフスタイルに合わせた価値観で、新たな商品展開を考えることに関心がある人

活動条件

－

給与待遇

－

活動場所

基本オンラインでの実施(キックオフ+必要に応じて弊社にて打ち合わせ)